

平成 21 年 1 月 23 日

各 位

会 社 名 シグマ・ゲイン株式会社
代表者名 代表取締役社長 中村 沢司
(コード 8192 大証第二部)
問合せ先 経営企画室長 小林 弘和
(TEL. 03-5521-2660)

平成20年11月期業績見込と前年同期実績(連結・個別) との差異及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成 20 年 11 月 期 (平成 19 年 12 月 1 日～平成 20 年 11 月 30 日) における業績見込におきましては、当社は連結・個別ともに業績予想を開示しておりませんので、下記のとおり前年同期との差異についてお知らせいたします。また、特別損失の発生についても併せてお知らせいたします。

記

1. 前年同期実績との差異

(1) 連結

(単位:百万円,%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
平成19年11月期 前年同期実績(A)	13,939	286	163	299	円 銭 2 40
平成20年11月期 当期実績見込(B)	12,011	△9,290	△9,297	△5,381	△39 08
増減額(B-A)	△1,928	△9,577	△9,460	△5,680	
増減率(%)	△13.8	—	—	—	

(2) 個別

(単位:百万円,%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
平成19年11月期 前年同期実績(A)	6,146	207	99	300	円 銭 2 41
平成20年11月期 当期実績見込(B)	515	△4,663	△4,647	△6,359	△46 19
増減額(B-A)	△5,631	△4,870	△4,746	△6,660	
増減率(%)	△91.6	—	—	—	

2. 差異及び特別損失の内容

(1) 連結

当連結会計年度におきましては、サブプライムローン問題を発端とした未曾有の金融市況の混乱により、主力事業の一角である不動産事業において減収減益となりました。

証券事業及び国際投資事業におきましては、投資先企業や投資事業組合に対する投資損失引当金繰入額、減損損失を多額に計上しております。

また、不動産事業におきましては、市況の悪化に柔軟に対応すべく、「棚卸資産の評価に関する会計基準」の早期適用を実施したことにより販売用不動産に対し評価損を計上しております。

主な減益要因は以下のとおりであります。

【売上原価】

(単位：百万円)

	内 容	影響額
①	Sociedade De Investimento Imobiliario Pun Keng Van , S.A.R.L が保有するマカオ不動産を再評価し、帳簿価額との差分を投資損失引当金繰入額として	5,440
②	国際投資事業に属する投資事業組合が保有する Macau Investment Holdings Limited 株式に対する減損損失として	1,297
③	「棚卸資産の評価に関する会計基準」の早期適用により、販売用不動産に対する評価損として	729
④	証券事業に属する投資事業組合が保有する有価証券に対する減損損失として	499

【特別損失】

(単位：百万円)

	内 容	影響額
①	IPO 証券株式会社の株式譲渡に伴い、関係会社株式売却損として	467
②	当社が保有する投資有価証券に対する減損損失として	108

(2) 個別

連結業績と同様に不動産事業が減収減益となりました。また、国際投資事業における投資損失引当金繰入額、関係会社株式に対する売却損や減損損失が発生しております。

主な減益要因は以下のとおりであります。

【売上原価】

(単位：百万円)

	内 容	影響額
①	Castle Rock Investment Holdings Limited に対する投資損失引当金繰入額として	3,857
②	「棚卸資産の評価に関する会計基準」の早期適用により、販売用不動産に対する評価損として	199

【特別損失】

(単位：百万円)

	内 容	影響額
①	当社が保有する関係会社株式に対して、関係会社株式評価引当金繰入額として	789
②	IPO 証券株式会社の株式譲渡に伴い、関係会社株式売却損として	666
③	当社が保有する投資有価証券に対する減損損失として	108

以上